



スマホも。



丸金太郎

名刺も。

Designers

MARUKINAD

■富岡本社 群馬県富岡市下原町289
■東京事務所 東京都渋谷区宇田川町42-6 co-lab渋谷



富岡・甘楽ニュース 第639号



社会福祉法人・上州水土舎（金谷透理事長）が毎年行っている田植え祭りが20日、IH1の社員55名とその家族、ボランティアなど約1500人の協力により、利用者と共に

水土舎の水田で行われた。稲を植え付けた水田は20アール。以前は田植えが終わると合鴨が放たれたが、合鴨を持ち去る人がいて、現在では合鴨農法は行われなくなってしまった。
近くに流れる沢の湧水を水田に引き込み無農薬で作られるお米は大変な人気で毎年、東京方面から注文が来ている。田植えが進む中、利用者のお母さん達はカレーを作り、15升分の餅をつき、からみ餅・あんこ餅を地元の方々に配った。

金谷理事長は合鴨に食べられていた、生きた化石と言われるカブトエビや、農作になると言われている豊年エビも、そろそろ姿を見せるだろうと話してくれた。田んぼにはアメンボ・オタマジャクシ・ゲンゴロウなどの水生生物が沢山いた。梅雨の晴れ間の暑い日で、時折吹く涼しい風が心地良かった。10月にIH1の社員やボランティアの協力と利用者で収穫祭も行われる。

第16回

「水土舎田植え祭り」



多文化交流楽 富岡市国際交

市生涯学習センターで7日催された。会場1階のホワイエGのライブやヘリテイジ仮面ちゃんも駆け付け会場に集ま。北側ロータリーでは恒例のわかれ10カ国以上の名物料理を味覚に舌鼓を打っていた。



見白いも... 富岡市国際交